

第9回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2022) 実施報告

大会運営本部本部長 玉置 純
((一社)日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

第9回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2022)は例年通り、大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)において、スポーツ庁、外務省、公益財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF)の後援と三起商工株式会社(以下 ミキハウス社)の特別協賛、大塚製菓株式会社、株式会社フォチュンの協賛、大阪府ヨットセーリング連盟の協力を得て、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU)の主催により、9月4日(日)に開催いたしました。懸念された新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せていましたが、感染対策には万全を期して、大会に臨みました。

4日のレース当日は地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、滋賀、香川、愛媛、岡山より本大会過去最多となる選手42名の参加があり、OP級上級者クラスに19艇、OP級初級者クラスに17艇、レーザーラジアルに6艇の内訳となりました。

9時より参加者間の密を避けた状態で開会式が行われ、冒頭に本大会の開催に尽力され、5月に逝去された大阪府ヨットセーリング連盟前会長岩崎 清彦様のご冥福を祈り、参加者全員で黙祷を捧げた後、伊藤雅宣大会競技運営本部長(JJYU 副会長)の挨拶、開会宣言に続き、昨年OP級上級者クラスで優勝のB&G高松海洋クラブの山本汐隠選手より優勝トロフィーの返還と同選手へのリブリカの授与を行いました。

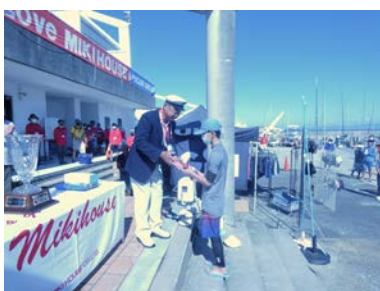
続いて小野澤 秀典レース委員長(JJYU 理事)から、選手ブリーフィングがあり、9時50分に出艇許可のクラス旗が掲揚され、レーザーラジアル、OP級上級者クラスよりレース海面へ向かいました。



大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー



伊藤大会競技運営本部長挨拶



リブリカの授与



小野澤レース委員長のブリーフィング

競技は、OP 級上級者クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP 級初級者クラスはハーバー近くの海面で実施しました。

当日は週間予報では雨、直前の台風 11 号の影響も懸念されましたが、一転して晴天となり、風もほぼ安定した状態が続き、遠くに明石海峡大橋を臨む中、選手達にとって絶好のコンディションとなり、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれたものと思います。

OP 級上級者クラスは快晴の下、第 1 レースは北の風 5knot で始まりました。予定通り、午前 10 時 25 分にレーザージャイル 6 艇 (1 艇 DNC) の予告信号を発して、10 時 30 分にスタート、OP 級上級者クラス 19 艇は 5 分後の 10 時 35 分にスタートを行いました。

1 日で 5 レースを実施する為、上下マーク間を 500m を基準にコース設定を行い、OP 級上級者クラスの第 1 レースのみ風力があがらない事もあり、コース短縮を行いました。そのほかのレースはフルコースで完走できました。午後になって徐々に風向が西に振れながらも風力も 10knot に上がってきましたので、無事 5 レースを実施する事が出来ました。

運営を担当した大阪府連の関係者の協力もあり、大きなトラブルも無く実施できた事に感謝致します。

一方、OP 級初級者クラスは 17 艇のエントリーがあり、例年通り、二色ハーバーの西側岸壁寄りにコース設定し、コーチや保護者の声援を受けながらのレースとなりました。午前のレースは北の風 5knot 前後で時折 9knot 程度のブローが入るコンディションで、レース所要時間を 7 分～12 分程度になるようにコース設定し、5 レースを実施しました。昼休みで一旦、ハーバーに帰港した後、午後からのレースを再開しました。午後は西からの風となり、風力も 7～9knot と上がってきましたので、コースを午前よりも長めに設定し、4 レースを行い、計 9 レースを実施しました。

初級者クラスは経験の浅い選手もいましたが、コンディションに恵まれ、レースを楽しんでもらえたものと感じています。



レーザージャイル スタート



OP 級上級者クラス スタート



OP 級初級者クラス 上マークの回航

全レース終了後、表彰式・閉会式を陸上本部前で行いました。

小野澤レース委員長より成績発表を行い、続いて特別協賛のミクス社光川彰夫取締役より、選手へのレース終了の労いと激励のご挨拶を頂きました。続いて、各クラスの入賞者へのメダル、表彰状及びミクス社より提供頂いた賞品の授与を行い、OP級上級者クラス優勝のB&G高松海洋クラブの直井胡帆さんにクリスタルガラス製ミクスカップ® 優勝トロフィーが授与されました。また、成績には恵まれませんでしたが、レースで敢闘した選手に協賛を頂いた(株)フォーションの賞品を同社マネージャーの中川秀男様より授与し、最後に全員で記念撮影を行い、滞りなく大会を終了しました。

最後に本大会にご協力頂いた全ての関係者に感謝を申し上げるとともに、来年の大会がより多くの参加者を得て充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。

以上



レザークラス入賞者



OP級上級者クラス入賞者



OP級初級者入賞者



クラブ対抗レース優勝クラブ



協賛の(株)フォーションより賞品授与



ミクス社光川彰夫取締役ご挨拶



全員集合